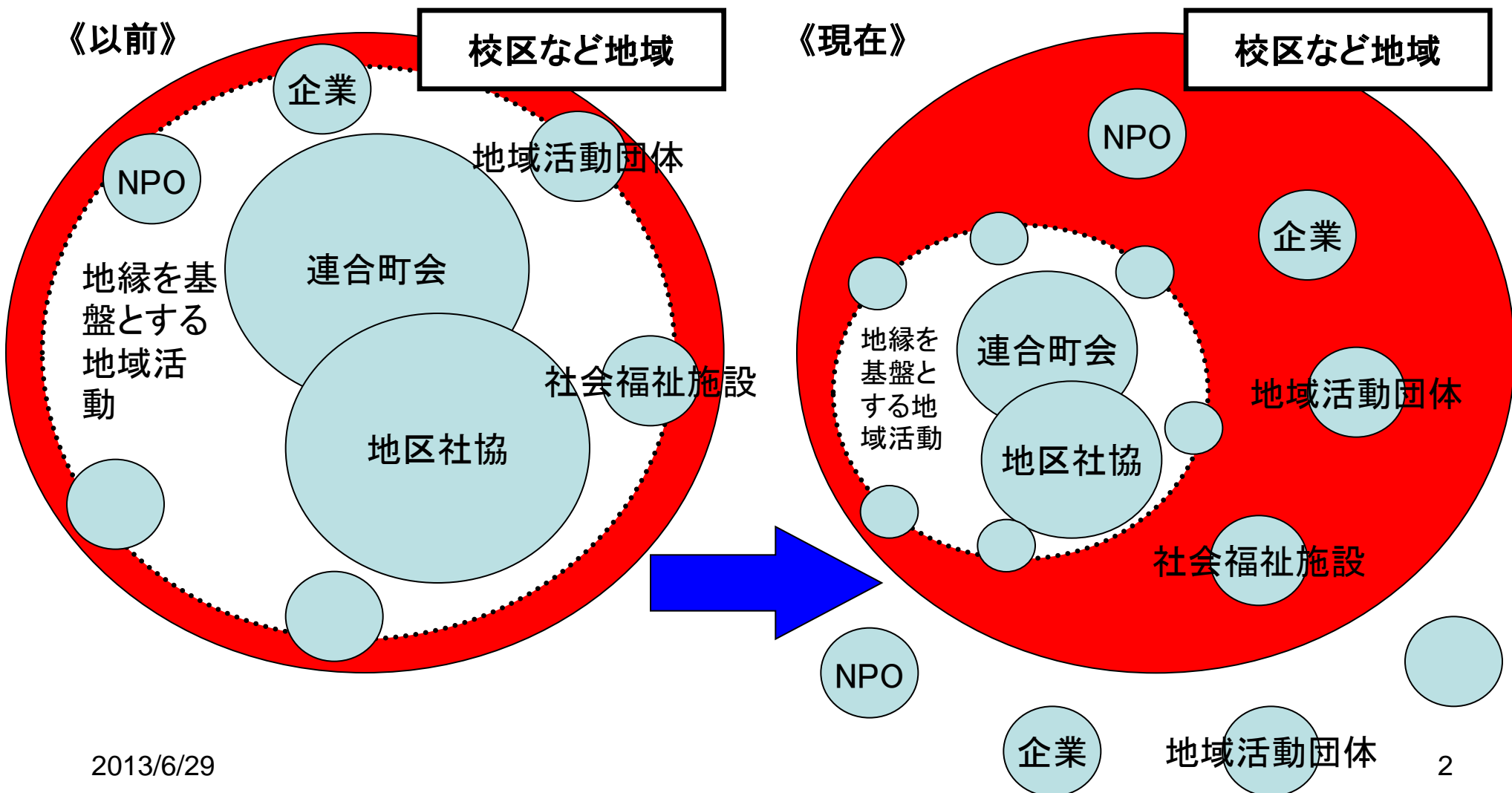


福島区地域活動協議会全体研修会
第1部：講演
「地域活動協議会って何？」

平成25年6月29日

りそな総合研究所
プロジェクト・フェロー
藤原 明

地域自治について、従来の枠組みでは対応できない状況が起こっています！



2013/6/29

現状の課題を解決するために...①

- 従来の枠組みでは、地域社会福祉協議会でも、
連合振興町会でも、埋められていない「悩み」「お
題」＝「穴」があります。その「穴」は広がる傾向に
あります。
- では、その「穴」＝「足りないところ」「悩み」「お題」
をどう埋めていくか？を考える必要があります。
- その際に必要なのは、「足りないところ」をいろん
なところの「ええところ」(強み)で補う、という発想、
すなわち「協働」の発想です！

現状の課題を解決するために...②

- いろんなところとは、今までの枠組にあまり参加されていなかった(ご縁のなかった)地域活動団体、NPO法人、企業などです。
- 地域のみなさんの「お悩み」「お題」をお聴きし、その「お悩み」「お題」を解決するために必要な、いろんなところの「ええところ」を集めて、地域の皆さんの「お悩み」「お題」を解決していくところが必要です。

「地域活動協議会」と「まちづくりセンター」① 《定義》

➤ その基盤となるのが「地域活動協議会」であり、そのサポートをするのが「まちづくりセンター」です。

➤ 「まちづくりセンター」は「地域活動協議会」の形成と運営のお手伝いをしています！！

地域活動協議会



「地域活動協議会」と「まちづくりセンター」②

《機能》

- まちづくりセンターは地域の「お悩み」「お題」をお聴きし、その「お悩み」「お題」を解決するために必要な、いろいろなところの「ええところ」(強み)を集めて、地域の皆さんの「お悩み」「お題」を解決していきます。
- その過程で、新たな地域活動の「担い手」を育成のお手伝いをします。

それぞれの立場・見解

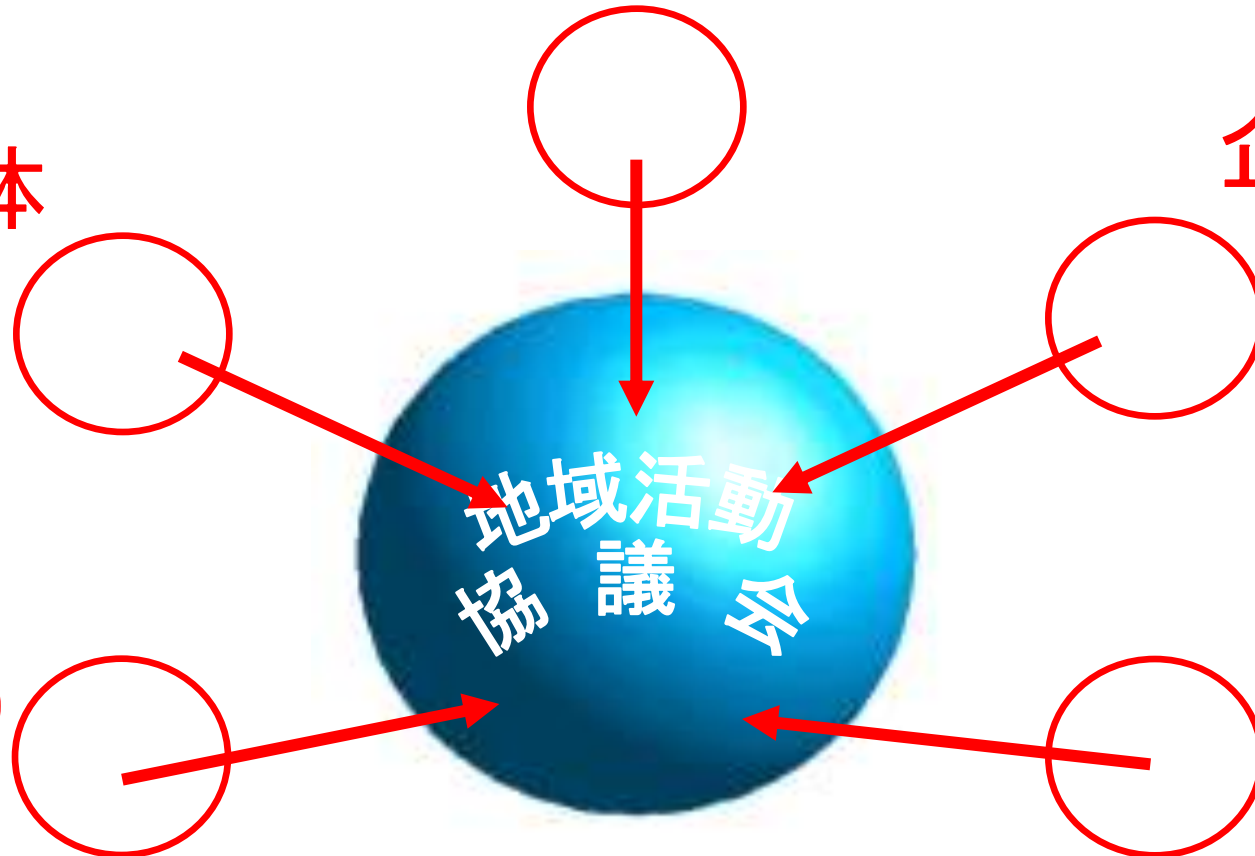
社会福祉施設

企業

地縁団体

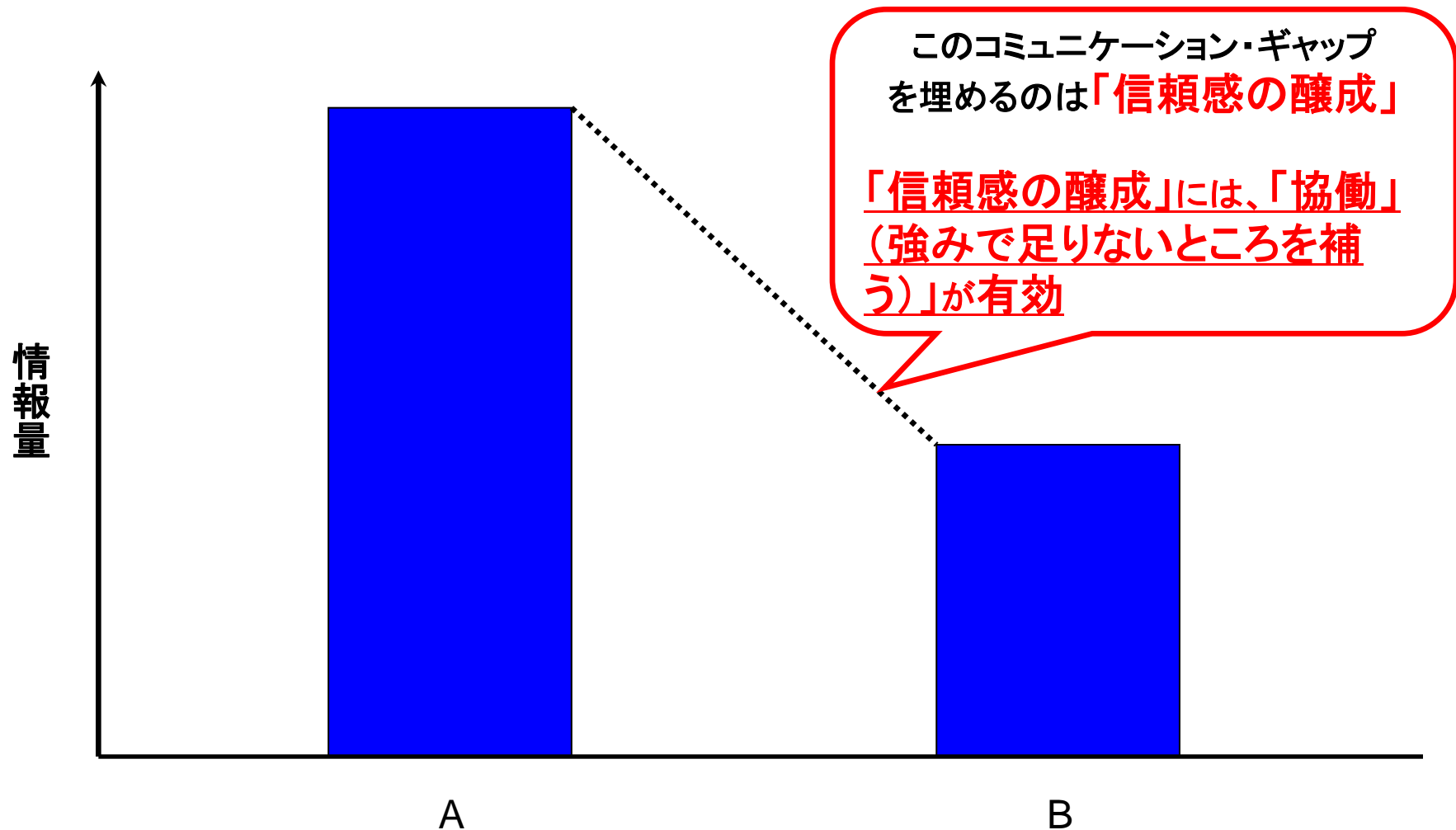
NPO

住民



同じ地域活動協議会でも見え方が違う！

コミュニケーション・ギャップ



地縁団体からすると...

ご意見	地域活動協議会
これまでの枠組みの「屋上屋」ではないか？	これまでの枠組みでは対応できない状況に対応できる可能性
役を担っている方々の負担が増すのではないか？	新たな協働先・担い手を見つけることができる可能性
行政主導の施策ではないか？補助金のための枠組みではないか？	行政の動向に左右されない自律・自律的地域運営の確立の可能性

企業からすると...

ご意見	地域活動協議会
地域活動に対しては「おっかなびっくり」「集られる」というイメージ	企業活動としてもメリットを取っていただける可能性
企業市民として地域貢献したい意向	地域貢献と企業活動両立の可能性

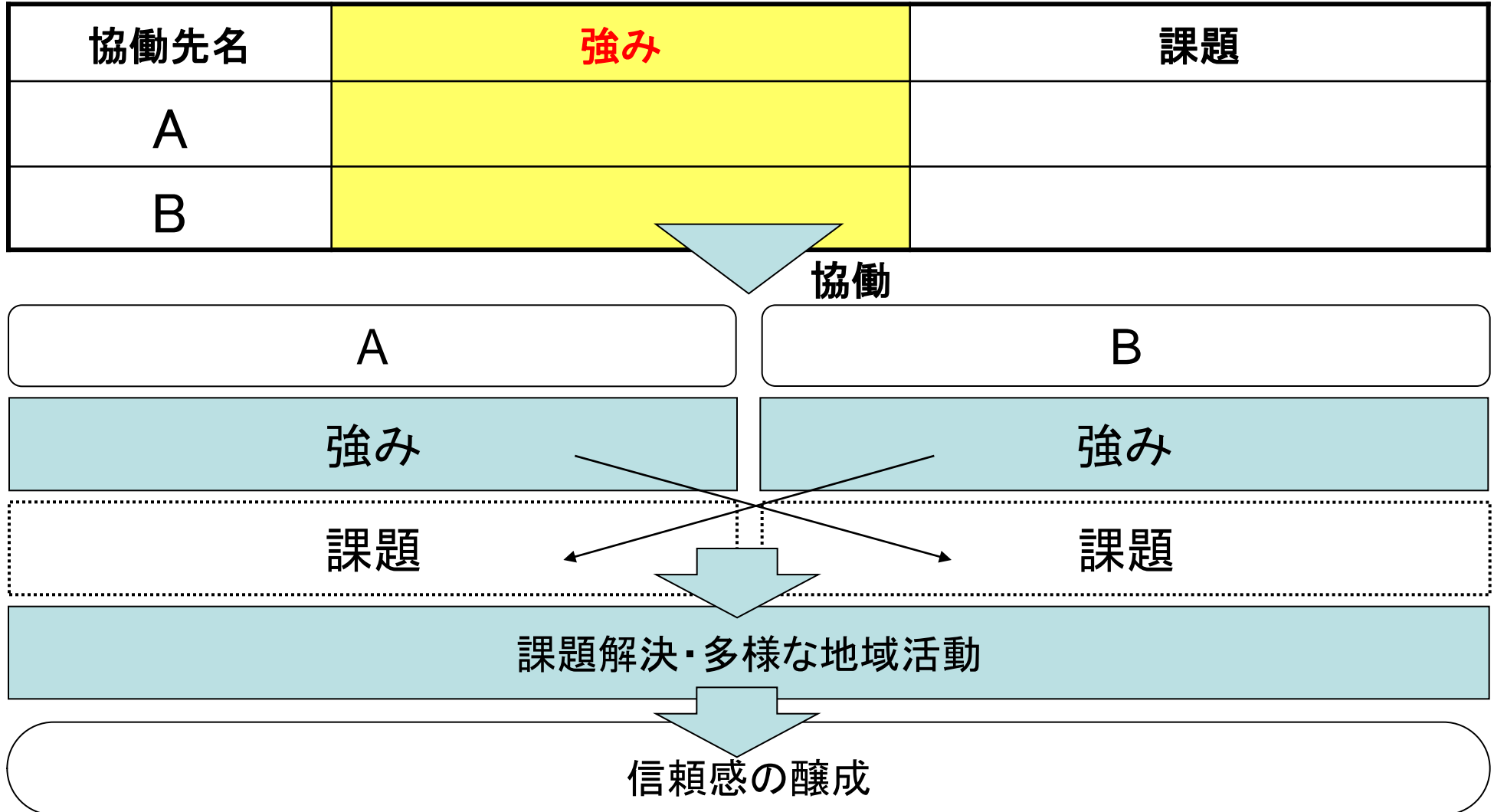
NPO・市民団体からすると...

ご意見	地域活動協議会
地域活動協議会の活動に参画したい	地域活動協議会の「お悩み」を解決する機能を発揮できる可能性
地縁団体との協働実績がない	地縁団体との協働の可能性

住民からすると...

ご意見	地域活動協議会
地域活動・地域活動協議会 のことを知らない	地域活動の実態を知っていた ただける可能性
地域活動に参画したい	地域活動デビューしていただ く可能性
民意を反映できる「場」が必要	行政の動向に左右されない 自律・自律的地域運営の確 立の可能性

「強みを活かして足りないところを補う」＝「協働」



コミュニケーションギャップを 埋めるために...「地域編集」

複雑化・多様化・増大する地域課題を解決するためには、地域活動に関わるさまざまな方々が、自分たちの「強み」を活かし、足りないところを補う「協働」によって、最適な解決策をスムーズに導き出せるようになることが必要です。

そのためには、ないものねだりではなく、あるものみがきの発想で、地域にある、さまざまな地域活動団体・NPO・企業・人材などの地域資源の「強み」を集め、編集し、見える化し、組み合わせる必要があります。

これが「地域編集」です。

コミュニケーションギャップを 埋めるために...「地域編集塾」4重奏♪

地域利害関係者	集いの「場」	情報集積	効果
地縁団体	「地域編集塾」	地域団体マトリックス (曼荼羅図)	タイムリーな 協働の喚起
企業	「地域編集塾」	企業「強み」マトリックス (曼荼羅図)	
NPO ・地域活動団体	「地域編集塾」	NPO・地域活動団体「強み」 マトリックス(曼荼羅図)	
住民	「地域編集塾」	住民「強み」マトリックス (曼荼羅図)	

地域編集塾4重奏

地縁団体(地域活動協議会コアメンバー)
「地域課題」把握→材料帳

課題

NPO・市民活動団体
「強み」把握→「強み」マトリックス(曼荼羅図)
→協働喚起→地域課題解決→CB/SB
ボランティア・市民活動センター、ボランティアビューローとの連携

タイムリーな協働喚起

強み

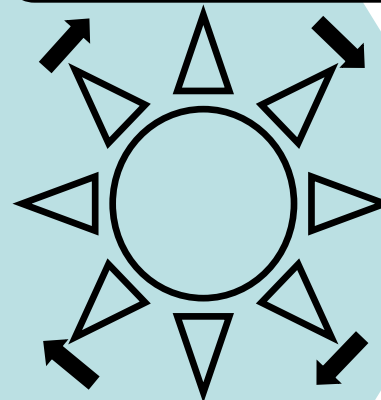
企業
「強み」把握→「強み」マトリックス(曼荼羅図)
→協働喚起→地域課題解決

強み

住民
「強み」把握→「強み」マトリックス(曼荼羅図)
→協働喚起→地域課題解決→地域人材発掘・育成

強み

協働による
信頼感の醸成



意見の摺り合わせ

多様な地域活動

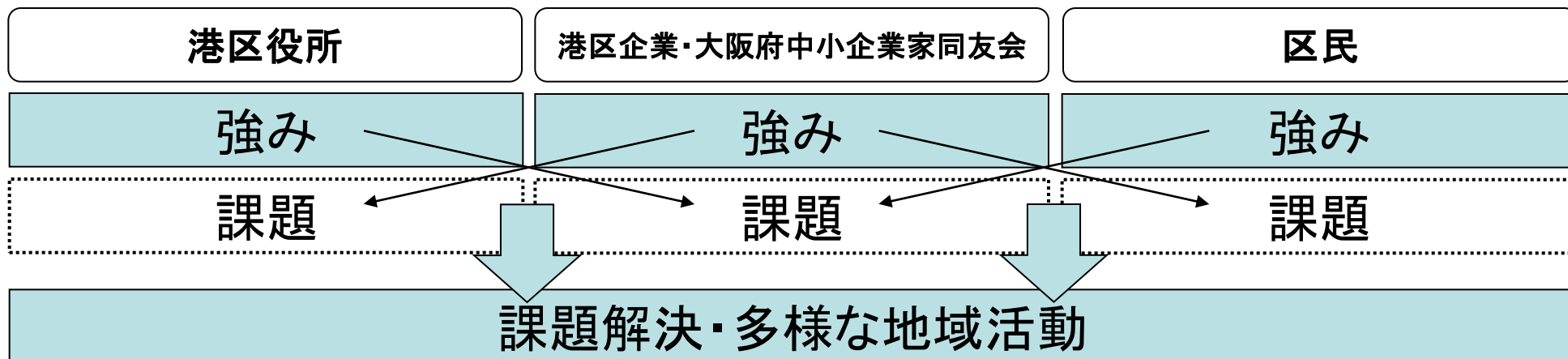
区政への反映

「真の地域自治」確立

「協働」とは... 協働事例「港区WORKS探検団」

協働先名	強み	課題
港区役所	各種団体とのネットワーク・企画力・広報力	教育・多様な区民の巻き込み
港区企業・大阪府中小企業家同友会	企業ネットワーク、企業訪問・職場体験の「場」、デザイン力	社会貢献の方法がわからない
区民	存在そのもの・社会貢献活動の対象	体験型の教育

協働



港区WORKS(ワークス)探検団: 企業訪問・職場体験と学んだことの振り返り

「協働」とは... 協働事例「港区WORKS探検団」

大人になっても、チカラになる

港区にある
働くカッコよさと
会社のスゴさを
キミのものに
できるゼン



探検団隊員
大ぼしゅう

探検先企業
A) 築港エリア：昭陽汽船(株)・(株)キャプテンライン
(株)インターフォワードシステムズ
B) 磯路エリア：(株)大阪情報文化センター「みなとQ編集室」、大和木材(株)
C) 弁天・市問元町エリア：ホテル大阪ベイトワ、(株)ミヤモト

探検団員の資格
1) 港区在住の小学4年生～6年生(10名)とその保護者(10名)
上記の3地区で合計60名
2) 参加費：1人200円(昼食代+保険代) ※交通費は自己負担

探検団への申込み
1) はがきに、●参加者全員の氏名(ふりがな) ●子どもの学年 ●住所
●電話番号 ●探検希望エリア(ABC第1,2,3希望順)を記入
2) 552-0007港区弁天2-15-1港区社会福祉協議会WORKS探検団係まで
⇒1月12日(土)必着 (申込み多数の場合は抽選、参加決定日の1月13日(土)までご連絡させていただきます)
3) お問合せ 電話6575-1212(港区社会福祉協議会)

地域と企業の活性プロジェクト
・港区企業まちづくり交流会・大阪府中小企業家同友会中央ブロック
・港区役所・(社)大阪市港区社会福祉協議会・(株)大阪市コミュニティ協会港区支部協議会 協力：日本郵船(株)・港区まちづくりセンター支部

キミは、キッと探検したくなる!



探検日時
◆2013年2月9日(土)
午前9時30分～午後3時

- ・午前：2社の企業探検(見学+体験)
- ・昼食：団膳中華「萬集楼」弁天と料亭解説(区民センターにて)
- ・午後：感想発表会(区民センターにて)



大阪・港区WORKS探検団

港元の小学生たちが地元企業の探検(見学+体験)を通して、企業の名前や働く楽しさ、探検の準備の準備を知ってほしい。また、想像以上に感想を発表してほしい。

A) 築港エリア

◆昭陽汽船(株)・(株)キャプテンライン
大阪港初の民間タグボート会社で日本最大のタグボートがあります。海運船～USJの海上交通! キャプテンラインも運航しています。

探検のポイント!
キャプテンラインに通知していただきます! 私たちは、港区の港湾と船を動かして仕事をしています。なぜかという、暴走は大層な「つかい」だからです。船に乗って高からるを体験して、たくさんのお話を聞いてみましょう!



(株)インターフォワードシステムズ

大阪をはじめ、日本の5大港と2空港で通関業者を営んでいます。世界の架け橋として自領と誇りを持ち、地域に欠かせない会社づくりを目指しています!

探検のポイント!
「日本の貿易を支える通関業!」私たちの身の回りに、輸入品がいっぱい。どんなモノが輸出されて、どんなモノが輸入されているのでしょうか? その仕組みを体験してみましょう!

B) 磯路エリア

◆(株)大阪情報文化センター「みなとQ編集室」
毎月30周年を記念する地域情報誌。港区・西区に毎月回覧料配布。女性の視点で捉えた地域情報誌を紙面とHPの両面から発信しています。

探検のポイント!
「みなとQ」3月号の誌面づくりを体験しよう! 子のため、探検に「港区にこんなエッセイがあるア」とお題できるスポット(お店はタメ)を3つ選んでみてね。表紙に皆さんの写真を撮影して、読ませます。



B) 磯路エリア

◆大和木材(株)
港区磯路で木材を中心とした住宅資材の販売を通じて、地域社会に貢献できる企業を目指しています。木製品や住まいに関するご相談も承ります!

探検のポイント!
今にはかかせない「調理学」に使える「20cmの材料の細さ」作りを体験してもらいます! 真鍮ペーパーで削り、スタンプを押せばオリジナル調理学の完成です!

C) 弁天・市問元町エリア

◆ホテル大阪ベイトワ
2013年4月で開業20周年を迎え、日本一夜景のきれいなホテルにも選ばれました。インターンシップや校外学習への協力など、地域貢献・ボランティア活動に力を注ぎ、地域でのシンボリックホテルを創出しています。

探検のポイント!
ホテルがいっぱいあるおきまへの「おまなし」についてお話をさせていただきます。館内見学やスライドでいるプロの人たちと紹介させていただきます。



C) 弁天・市問元町エリア

◆(株)ミヤモト
「トラックの車なら何でもご相談ください」を合言葉に、トラック・部品の販売から整備・改造までトラックのワンストップサービスを目標としている会社です。

探検のポイント!
「トラックの車なら何でもOK!」トラック部品の販売から整備・改造までOKです。「こんなトラックあったらええな!」というのを聞いてみましょう!

◆団膳中華「萬集楼」

約60年の伝承と味の感動を伝える老舗中国料理店。山南省の家風料理を愛する水餃子、健康好きのオーナーのこだわりで調理油はすべて植物性、意外とヘルシー!!

探検のポイント!
お弁当も用意します。その中で何品か調理の体験しますので、食べながら聞いてね。また、区の中学校まで持って行くので、みんなに贈るはんこの体験もしてもらいます。



(協働事例)

大阪市港区企業まちづくり交流会 (出典:大阪市港区HP「区長の『みなとの風だより』」)

港区企業まちづくり交流会。港区で活動する企業の皆さんが、地域に根ざした活動や社会貢献について情報を交換して交流を深め、地域活動へのきっかけづくりをしていただきたいと、区内約600社に呼びかけて、これまで3回開催しました。

第1回は昨年7月に59社70名が参加。(株)間口、前田社長の基調講演、大和木材(株)さん、(株)桃谷順天館さんの地域貢献活動の事例報告の後、意見・情報交換。

第2回は今年1月に44社50名が参加。リそな総合研究所プロジェクト・フェロー藤原明さん※を講師に「自社の強みを活かした地域貢献」をテーマにワークショップを行い、各社がそれぞれの「強み」を披露、藤原さんのアドバイスを受けながら、個々の「強み」がどんな活動に繋がるのか「ストーリー」の編集に挑戦しました。そして、その時のアイデアを地域活動スタートプランとして次の5つの項目に整理して推進しています。



- 「子ども110番の家」の登録[企業も地域と一緒に子どもを守る] →登録手続き中
- 職場体験・企業訪問の受け入れ[子どもの社会学習] →来年2月に企業訪問「港区ワークス探検団」を実施
- 高齢者向けセミナーでの講演[携帯電話の活用、金銭管理など高齢者の生活の質向上]
→港区社会福祉協議会において実施を検討中
- 美化活動の実施[清掃活動を年に数回合同実施] →大阪マラソン“クリーンUP”作戦に合同参加
- 災害時における協力[協力できる事項を登録し災害時の支援体制を強化]

(協働事例)

大阪市港区企業まちづくり交流会 (出典:大阪市港区HP「区長の『みなとの風だより』」)



そして、第3回交流会。8月27日、53社61名が参加、藤原さんをファシリテータとして「災害に負けない協働のまちづくり」をテーマに開催、図上訓練の後、防災の視点から自社の強みを活かした地域貢献を考えていただき、「広い倉庫が一時的に避難所として使える」「AED やフォークリフト、工具がある」など多くの意見が出されました。今後協力いただける具体的な内容を更に照会し、実施に向けてコーディネートを進めます。

今回の市政改革の柱の一つは「大きな公共を担う活力ある社会づくり」。少子高齢化や核家族化の急速な進展の中で、虐待やいじめなど、特に子どもやお年寄りを取り囲む環境が大きく変化しています。地域では、地域団体やボランティアグループなど様々な方が熱心に活動される一方で、特定の人に負担が集中

し、「つながり」や「きずな」は大切であると感じつつも、新たに地域活動に参加する人は少ない状況にあります。ますます拡大する公共を担うためには、地域団体や企業など多様な活動主体と行政が協働、連携することが重要です。このような観点から、港区で活動する企業の皆さんがお互いの「強み」を出し合い、それが無理のない地域貢献に繋がることで港区の子どもやお年寄りたちのためになる(公共を担っていただく)ことは非常に有意義です。

区役所は、企業や個人も含め、地域で様々な活動されている方々が知り合い、繋がっていくことができる役割を、あたかも化学反応の触媒のように果たすとともに、その方々と協働・連携して、港区の安全・安心・賑わいのネットワークをしっかりと築きたいと考えています。

※りそな総合研究所プロジェクト・フェロー藤原明さんは、8月から区長アドバイザーに就任いただいています。

ワークショップの流れ

①地域のあるべき姿＝未来像・理想像を語りましょう！

比較

③差（ギャップ）＝地域の「課題」を認識しましょう！

④差（ギャップ）＝地域の「課題」を分類しましょう！

②現状はどうなっているのでしょうか？

⑥差（ギャップ）＝「やるべきこと」を認識しましょう！

⑤「課題」に対して実施された施策（市政・区政・地域の取り組み）を挙げてみましょう！

⑦差（ギャップ）＝「やるべきこと」を実現するためには、どんな協働先（市民活動団体・NPO・企業）、地域資源があるかを考えてみましょう！

⑧協働先および地域資源の「強み」を把握しましょう！

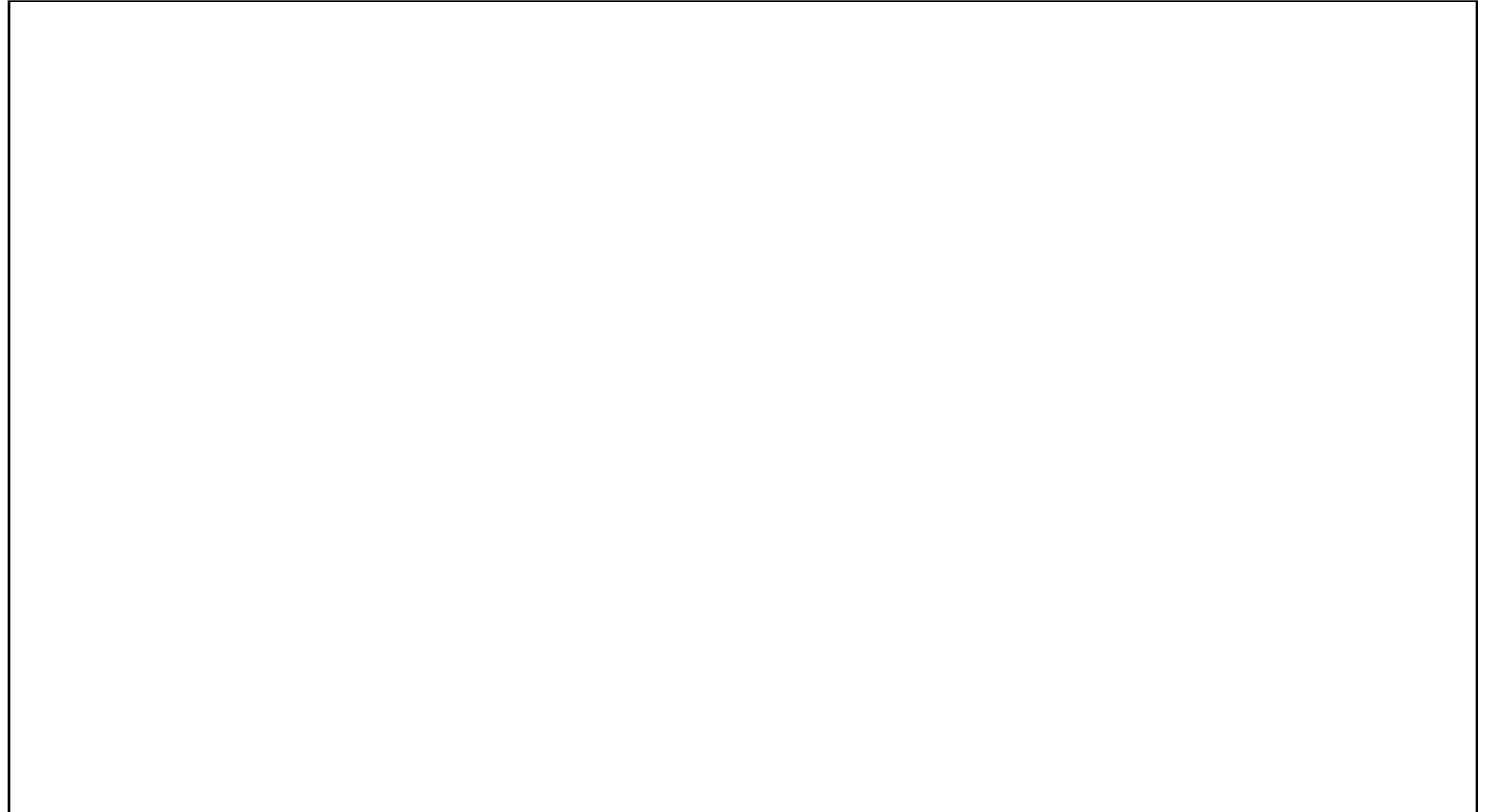
⑨協働先および地域資源の「強み」を分類しましょう！

⑩具体的な協働策＝「プロジェクト」を考えてみましょう！

①地域のあるべき姿＝未来像・理想像を語りましょう！



②現状はどうなっているのでしょうか？



③あるべき姿(理想像・未来像)と現状の差(ギャップ)＝地域の「課題」を認識しましょう！



④あるべき姿(理想像・未来像)と現状の差(ギャップ)＝地域の「課題」を分類しましょう！



⑤「課題」に対して実施された施策（市政・区政・地域の取り組み）を挙げてみましょう！



⑦「やるべきこと」を実現するためには、どんな協働先(市民活動団体・NPO・企業)、地域資源があるかを考えてみましょう！



⑧協働先および地域資源の「強み」を把握しましょう！



⑨協働先および地域資源の「強み」を分類しましょう！



「強み」とは…

- 他にはない、
「売り・特徴・アピールポイント」
- 活用する側の「選択理由」
- 「存在理由」
- 「最も輝いている瞬間」のイメージ

「強み」要素の編集

【編集】①「強み」要素を並べて俯瞰してみる

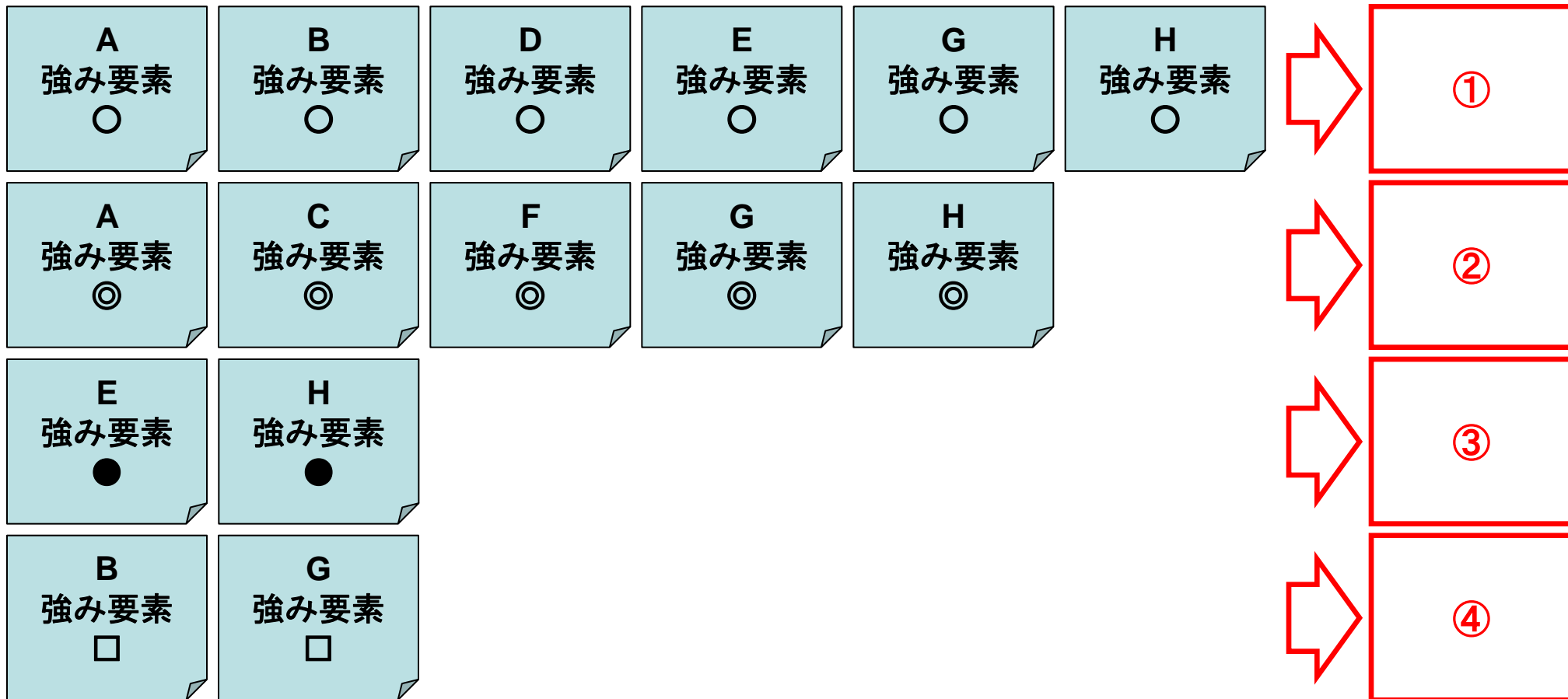
A 強み要素 ○	A 強み要素 ◎	A 強み要素 ▲	B 強み要素 ○	B 強み要素 □	B 強み要素 ■	B 強み要素 ◇
B 強み要素 △	C 強み要素 ◎	C 強み要素 ◇	D 強み要素 ○	D 強み要素 ■	D 強み要素 ◇	D 強み要素 ▲
E 強み要素 ○	E 強み要素 ●	F 強み要素 ◎	F 強み要素 ■	F 強み要素 ▲	G 強み要素 ○	G 強み要素 ◎
G 強み要素 ◇	H 強み要素 ○	H 強み要素 ●	H 強み要素 ◎	G 強み要素 □	G 強み要素 ■	G 強み要素 ▲

「強み」要素の編集

【編集】②「強み」要素を分類カテゴリー(整理・分類基準)を決めながら整理・分類

「強み」要素を眺めながら、分類カテゴリーについて「拡散」と「収斂」を繰り返す

分類カテゴリー

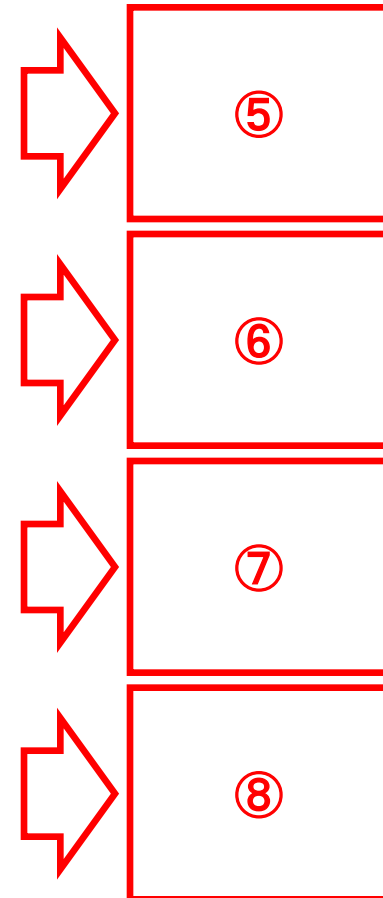
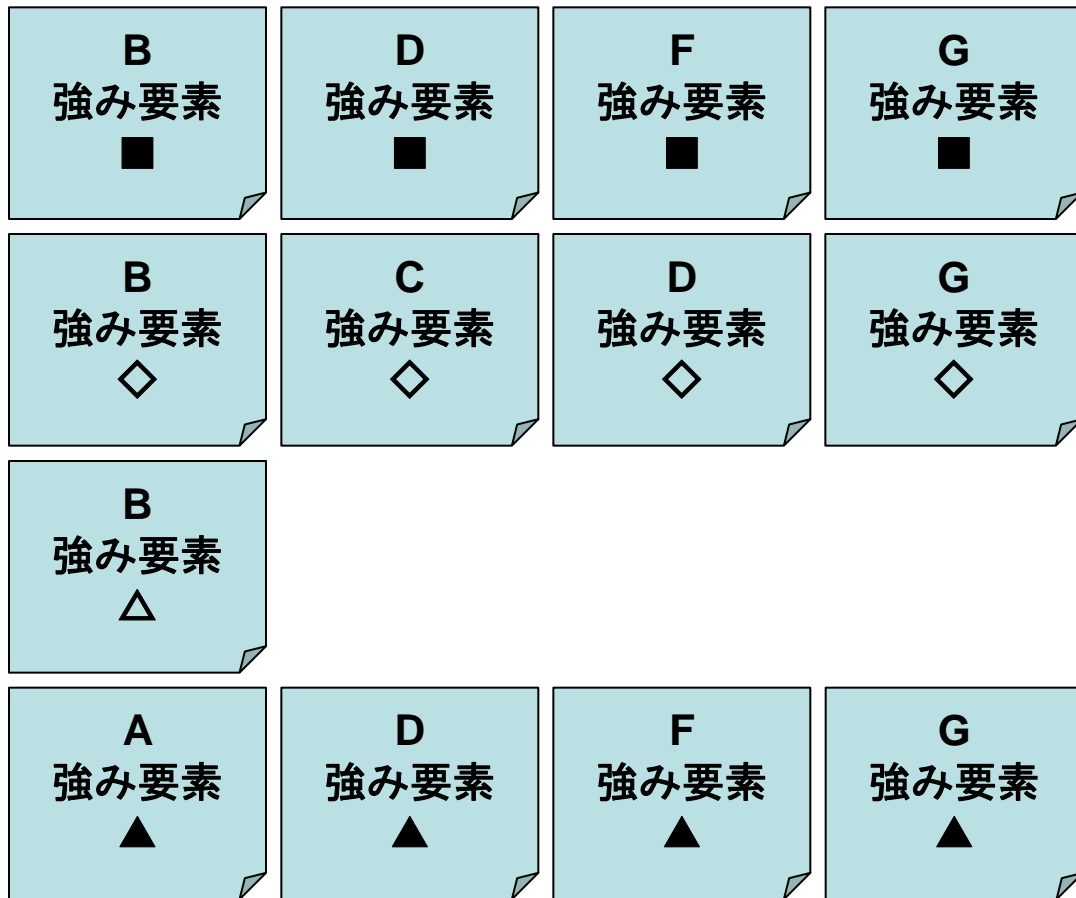


「強み」要素の編集

【編集】②「強み」要素を分類カテゴリー（整理・分類基準）を決めながら整理・分類

「強み」要素を眺めながら、分類カテゴリーについて「拡散」と「収斂」を繰り返す

分類カテゴリー



「強み」要素の編集→「強み」要素マトリックス(曼荼羅図)

【編集】③「強み」要素マトリックス(曼荼羅図)作成

	住所	電話番号	URL	活動概要	強み	○ ①	◎ ②	● ③	□ ④	■ ⑤	◇ ⑥	△ ⑦	▲ ⑧
A	○		○	○				
B		○			○		○	
C			○			○	○	
D							○	○
E		○		○				
F	○							
G	○				○		○	
H			○					

「強み」要素の編集→「強み」要素マトリックス(曼荼羅図)

【編集】④「強み」要素分類基準・項目例

施設	マンパワー	場	情報発信力	講座コンテンツ	イベントコンテンツ	高齢者	障がい者	女性	団塊の世代	外国人	福祉	防災	防犯	子育て	大学	学校	専門学校	語学	衣	食	住	まちづくり
遺言	医療・健康	農	美容	家電	スポーツ	音楽	環境	自転車	デザイン	アート	歴史	計測	ものづくり	企業活動と社会貢献活動の両立	作業所	専門家	プラットフォーム	ネットワーク	連携	地域性	コミュニケーション	ニーズ把握・調査

「強み」要素マトリックス(曼荼羅図)→協働ストーリー展開＝地域課題解決

【ストーリー展開】①「強み」要素マトリックス(曼荼羅図)を戦略マップとして協働ストーリー展開

活する「強み」要素		協働ストーリー切り口		協働ストーリー展開＝地域課題解決
1		1		<p style="text-align: center; color: red; font-size: 2em; font-weight: bold;">タイムリーな 協働喚起</p>
2				
3				
4		2		
5				
6				
7		3		
8				
9				
10		4		
11				
12				

⑩具体的な協働策＝「プロジェクト」を考えてみましょう！



現在の大阪市市政改革プランにおける、 新しい地域コミュニティの組成の意味

- 「真の地域自治」の実現のためのトライアル。
- 多様な方々の意見が摺り合せられ、それが区政・市政に反映される仕組みづくり。
- その中で、さまざまなステークホルダーが、そして、区民お一人おひとりが、自身の強みを活かしながら、活躍できるチャンス。

ご清聴ありがとうございました！！
本件に関するお問い合わせは…

りそな総合研究所

りそな銀行大阪地域

藤原 明

06-6268-1972

a-fujiwara@rri.co.jp

akira.fujiwara@resonabank.co.jp

まで。